



マンボウ通信 44号

ホームページ <http://www.geocities.jp/manbow7jp/donky2003/>

発行：NPO法人マンボウの会

【発行：庄子 裕子】

〒854-0011 長崎県諫早市八天町6-17

電話・FAX (0957) 22-9569

Eメール manbow1388@yahoo.co.jp

就労継続支援B型事業所 ドンキーワールド

軽食喫茶タック (出張所)

木古里 (従たる作業所)

ドンキーワールド

軽食喫茶
タック

木古里

タックオープン3周年 おめでとうございます!

思い返すと、平成19年に初めて庄子さんとお会いした時は、小規模作業所のドンキーワールドのみ。タックはまだ存在していませんでした。それが、わずか3年の間に、地域活動支援センター、就労継続支援事業所、そしてタックのオープン…と、どんどん形を変え、規模を拡大できたのは、マンボウの会の利用者の皆さんや、庄子さんを始めとするスタッフの皆さんの努力の賜物でしょう。本当に頭が下がります。

正直に言うと、3年前にタックの計画を伺ったときは、「大丈夫かな…」と不安に思ったのですが、綺麗な店舗ができ、あふれ返る方々にお祝いされて開店する様子を見ていくうちに「いけるかも!」と期待が上回り始めました。

グランドオープン後も快進撃は続き、庄子さんと森さんから「今月は売り上げ90万円を越えそうです!」「利用者の皆さんにボーナスを出せました!」など、私の想像を超えるご報告をいただくたびに、すごい!と感動するとともに、今の活躍を予想できなかった自らの不明を恥じるばかりです。

味や価格、店舗の清潔さはもちろんですが、タックのサービスの中で、僕の1番のお気に入り、森さんが入



れてくださる特性コーヒーにそっと添えられるクッキー。あんな気配りは、お客様のことをよく考えていないとできないサービスだと思います。そんな気遣いがタックの中に満ちているからこそ、長い間、地域の皆さんに愛されているのではないのでしょうか。

徳島県上勝町では、診療所やデイサービスに通ってばかりいた高齢者が「葉っぱビジネス」に携わるようになって、生き生きし始めたそうです。「一人ひとり地域の中で自分の出番があり、働いて評価され、社会とつながっていると感じられれば、働くのはとても楽しいことになる。」

これは、まさに今のマンボウの会の姿ではないのでしょうか。福祉サービスを与えられる立場だった利用者さんが、お客様に与える立場になって活躍する。その結果、工賃1万円を脱却し、生活の選択肢も広がる。そんな理想像を追求して、福祉業界を引っ張ってください。そして、タックに負けないように、ドンキーワールドのパン外販と印刷、木古里のガーデニングの各部門の皆さんも頑張ってください! これからも応援します!

平成24年11月

長崎県産業振興課 村井 保之

横石知二氏著
「そうだ、葉っぱを売ろう!」



タック、よもやまばなし

ホールスタッフの接客回数は？

タックのホールのスタッフ1人が来店されたお客様に、ご入店からお帰りになるまでに、何回接客するかをクイズにしてみたいと思います。

早々、お答えしましょう。お客様が来店されると『いらっしゃいませ』のご挨拶でお迎えします《1回》。メニューのAかBを選択して頂いて、席までご案内します《2回》。お冷やとおしぼりをお持ちし、食前のコーヒーをホットかアイスにするかをお聞きします《3回》。食前のコーヒー・お茶をお持ちします《4回》。料理をお持ちします《5回》。料理を下げると同時に食後のドリンクをお聞きします《6回》。食後のドリンクをお持ちします《7回》。会計を頂戴し『ありがとうございました』でお送りする《8回》。最低8回は、お客様と接することになります。みなさ

んの予想は当たりましたか？ ところが、この他にもお冷や・お茶・ごはん・おみそ汁などのおかわりが加わります。また、満席の時とか4人以上の団体様の時などには、もっと回数が増えます。今度ご来店の際に、確認されてみてはいかがでしょうか？

しかしタックのスタッフは、ホテルスタッフのように^{りゅうちょう}流暢な(よどみのない)接客はできません。でも、誰よりも「お客様に喜んで頂きたいと思い一生懸命に働いている姿」は、お客様に通じていると思います。

私は、タックの利用者11名と職員4名、計15名のスタッフを誇りに思います。今後とも、皆様の温かい心で応援して頂ければ幸いです。

森 勝利

何ごととも考え方次第

ヒロシです…僕の幸せ探し



皆さん、こんにちは。台風が過ぎ、涼しくなったと思ったら寒くなりましたね。雨が降って冷たく、日差しがあつて快晴でも、地熱は空へ逃げ、これまた寒いのですから、情のない世の中にも似て、寂しいばかりの季節到来です。

秋は恋の季節。冬は2人でクリスマスと、わざとらしいぐらいの話は、僕の未来にはあるのでしょうか？ 皆さん、コンビニで買ったクリスマスケーキを、1人で食べていませんか？

クリスマスケーキにイチゴがのったのは、いつの時代からでしょうか？ イチゴの旬は夏です。昭和30年代は高級品で、年に一度食べられるかどうかの品物だったそうです。同じく、卵も高級品でした。1個30円ぐらい、今の金額

にすると約500円ぐらいだそうです。親子丼、カツ丼が大衆食堂で食べられるようになったのも、そんな昔ではありませんよね。

そう考えるとケーキの材料は、卵にイチゴと、めっちゃくちゃ高級品じゃないですか!! 今の時代に生きていて良かったです。コンビニで気楽に買えるのですから。

これから寒い季節到来ですが、こんなふうに思考を工夫して考えると、案外幸せだなあ、と感じることができるかもしれません。この世の中、確かに情がなく冷たいですが、幸せは身近に隠れているものです。何事も考え方次第で、プラスにもマイナスにもなります。身近で幸せを探してみてくださいね。

本多 博

7年目の心のマイフレンド 障がいと、電卓と、桃ちゃんと

タックが栄町アーケードにオープンして早いものでもう3年がたちました。平成21年当時と比べると、料理の味もお客様へのおもてなしの質も向上し、1日の来客数が平均6人だったのが今では35人となり常連様も多くなりました。サービスがよい店とクチコミで広がり評判も上々です。

タックのサービスの中には“給食”があり、ドンキーワールドとタックの利用者も昼食は一般のお客様と一緒に食べることができます。



私は自分で食事を取ることができないので何人かのタックのメンバーに食事介助をしてもらっています。

最初のうちはお客様と一緒に食べるのに少し抵抗がありました。それは介助の様子をジロジロと見る人がいたからです。

そんな時は森さんは、タックに展示してあるメンバーの作品説明をしてフォローをしてくれます。作品の中には私が描いた^{あぶらえ}油画もあります。右手が今よりも自由に動いて好きな^え画を何枚も描き、レベルの高い美術展に出品して賞をもらったこともありました。そんな絵がお客様の目にとまり「いい^え画を描きますね、私も画を描くんですよ。」と私の画のファンになってくれて、町で出会ったときに声をかけてくれます。他にも気軽に語りかけてくれる人たちが増えました。これも町の中で一生懸命に働いている仲間のおかげです。そんなタックの仲間たちと、出会ってきたお客様のことを私は“心のマイフレンド”と呼んでいます。

心のマイフレンドの中には、タックのメンバーで私の食事介助をしてくれる仲間がいます。

彼女とは7年間のつきあいになり、いろいろなことがありました。年月が流れる中で一番成長したのが泉桃子さん、愛称 モモちゃんだと思います。ドンキーワールドに入所したばかりの頃は電卓も打てないので、お客様から1万円を渡されると、お釣りの計算が出来なくて、逃げ回っていました。

そんな桃ちゃんに「知的障害があっても学習すれば電卓ぐらいいは打てるようになる。電卓が打てれば計算ができて、自信を持ってパンが売れるようになる。」という庄子さんの理念の元に指導が始まりました。最初は電卓の学習が嫌で涙している時期もありました。それでも根気強く指導を受けて、3桁の計算なら電卓で出来るようになり、みんなとの協調性もとれるようになりました。

今ではタックの前でパン売り看板娘として毎日笑顔で販売に励み、桃ちゃんの笑顔でパンが売れています。桃ちゃんもお客様とのふれあいの中で、いろんな刺激を受けて成長し続けています。障がいがあっても理念と教育があれば成長できることを、桃ちゃんが身をもって教えてくれました。



桃ちゃんの頑張りに負けないように、私自身もデザインの技術を磨き、今以上にお客様に納得して喜んでもらえる動画編集やDVD作成をめざしています。そして印刷部が独立して広い場所で伸び伸びと仕事ができることを目標に、これからも頑張っていきます。

大賀 誠

エキストラ参加で、ギネスに挑戦! 池島譚歌のレール秘話



あらすじ：映画池島譚歌は、長崎市のかつての炭鉱の島“池島”を舞台に撮影した、四人の子供達の冒険の物語。母親が失踪した主人公、諒一りょういちが、母の秘密を知り前を向いて歩き出すまでを描きます。

9月2日(日)小浜の“もくもく”からのお誘いで、ギネス記録に挑戦する映画のエキストラとして、ドンキーワールドも参加することになりました。うだるような暑さの中、みんな自分の名前とその由来を書いたボードをもって案内待ち。アナウンスがあって移動。今度は移動先で、また待機。12



時30分受付で、撮影開始は14時から。1時間半



なら…とぼんやり待っていましたが、リハーサルの後に本番ということで、千人を超えるエキストラも、すでに半分疲れ切っていました。

それでも、監督の『では、本番いきましょう!』のかけ声にみんな奮い立ちました。本番の撮影は無事に終了。キツイとかダルイとか言っていた大輔と上原ですが、最後の記念撮影では監督と女優さんの真後ろになり、監督のリストバンドを皆でつかんで気分はすっかりスタッフ!!



終了の『お疲れ様でしたあ〜』の声は誰よりも大きかったと思います。

次の日のニュースで1kmのレールの秘話を知りました。荻野欣士郎監督おぎの きんしろうはラストシーンで1kmのレールを移動しながら撮影し、世界一を達成したいと考えていたそうです。それは“誰かの目標になりたい”という思いから。これまでのレールを使った撮影記録は100メートル。

撮影前に聞いていたのは『レールは750メートルあるので、不足分の250メートルのレールを、先に撮影を終わった方から持って行って継ぎ足して1kmにする』とのことでした。

しかし全国の業者から集まった映画用の鉄製レールは実は500メートル。足りない分は諫早で金属加工業を営む田中健二さんが、塩化ビニールのパイプで作ったそうです。長男の達也君が映画の子役に出演したのを切っ掛けに、レール作りに名乗りでたとのこと。



この日の最高気温は31.7℃(地面はそれ以上)の熱

で塩化ビニールのレールが伸び始めましたが、スタートからおよそ15分。カメラを乗せた台車が無事、1kmを超えるレールを滑り終え撮影は成功しました。

上原 英明



ガーデニングワールドカップ in ハウステンボス 目標は木古里の、女性ガーデナー

木古里の中に溶け込んでいた作品や、新しく作成した作品を集めて、テーマ：「石と緑の物語」としてガーデニング世界大会に挑みました。

ハウステンボスのミニガーデン部門に割り当てられた 2.5m×4.5m 範囲の芝を刈り込み、植木土を載せて、平らにした場所にモニュメントの“水の流れ”を仮設置。背景のパーテーション、下地になる石、小物の配置から始まりました。



ガーデン周りの平石を積む作業、植栽にはパン部の池田さん、元木古里メンバーの横田さんにもお手伝い

をして頂きました。芝を刈った上からの植栽だったので地面が固く植え付けるにも力がいりました。苔貼りには上戸則幸さんの息子さん(ヒデユキさん)が大活躍で、森さんが苔についているゴミをきれいに取ってそれを丁寧に貼り付ける作業をしていました。

そんな合間に気配りの森さんは、みんなへのジュースやピザを買ってきたりと、歩き過ぎでお疲れのようでした。ありがとうございました。

“水の流れ”も一筋縄ではいきませんでした。上から漏れてきたり、水が下に落ちる時に風が吹くと桶に入ってくれなかったりと思っていた以上に時間がかかりました。そして、最後になって照明をどうするか？ 暗くなる前に終了時間になるので、感覚でライトを照らしながらの設置でした。



ガーデナーの上戸茂さんは、指示を出すこと材料の追加採り、自分の考えを形にしていくことで大変だったと思います。それがガーデナーなんでしょうね。仕事として依頼がきて造る庭とは異なり『自分の思い描く庭を造れるチャンスが無駄にはしないぞ』という強い意志があったように感じました。ワールドカップという大きな舞台で、晴れ姿をたくさんのお客様に見て頂き、1人でも多くの方が「木古里」へと足を運んでくださるといいなと思います。

個人的にはフラワーアレンジ、ブライダルブーケ、生け花、ハンギングバスケット等の作品を見ることもでき、モチベーションを上げることに繋がりました。こんな機会を与えてもらったことに感謝しています。



今後は、木古里テイストをアピールしつつ、自分の周りの人達への気配りができ、自分の想いを伝えていけるガーデナーとして成長していきたいです。

石本 香織

▼最後に茂さんの感想です。

『リラックスして作業が出来ました。緊張感はなかったです。たくさんの方に見て頂けるという楽しさがありました。3日間で完成出来るか心配でしたが、スタッフに助けられ段取り良く進みシミュレーション通りにできてよかったです。』 上戸 茂



気分リフレッシュで大満足 大自然はスゴイ、雲仙研修旅行

9月30日と10月1日の2日間、みんなが楽しみにしている、年に1度の研修旅行。今年は島原と雲仙に行きました。当日の朝は天気予報通り、台風の影響で風が強くて運転手の庄子さんも「風が強くてハンドルが取られてしまう」と言っていました。ロンロンは、雨を予感したのでしょうか、ぶるぶると震えてしまいました。

一泊の研修旅行は学生時代の修学旅行のようにみんな嬉しそうで、一緒にリフト車に乗った竹村さんや榮さんと「温泉に入りたい」「夕食が楽しみ」などと楽しく話をしながら、最初の目的地である島原復興アリーナに向かいました。島原復興アリーナで昼食を取り、1時間ほど館内を見学しました。僕は、坂本さんや田中克将くんと一緒に屋上に行きました。風は強くて少し寒かったのですが、屋上から見渡す景色は最高で気持ちも大きくなりました。大自然は凄い!!

雲仙災害記念館にも行きました。記念館には、大迫力のドーム型スクリーンで火砕流・土石流



の模擬体験ができる「平成大噴火シアター」がありました。僕は体験しなかったのですが、田中克将くんが「結構、揺れて気持ちが悪かったよ」体験談を聞かせてくれました。それを聞いて、僕も体験すれば良かったと思わず残念でした。

宿泊先の「雲仙みかどホテル」に到着しました。夕食の時間まで余裕があったので、池田さんに手伝ってもらいながら、お風呂に入りました。みんなが一番楽しみにしていた夕食は、バイキング。自分が好きな物を好きなだけ食べられる

ので、みんな色々な食べ物を取っておいしそうに食べていました。仲間と楽しく話をしながらの食事は最高で、つい飲み過ぎてしまいました。

夕食後は、1階のロビーに集まってビンゴゲームが始まりました。運の良いことに、僕がイチ抜けをしました。森さんや中尾さんに「大輔、不正したんじゃないかとか?」といったものようにイジられながらも、楽しかったです。ゲームも終わり、2次会に参加する仲間やゲームコーナーでUFOキャッチャーをして遊ぶ仲間。部屋でゆっくり過ごす仲間など様々で、みんなホテルでの一夜を満喫しました。



翌日は、仁田峠に行きました。展望台には階段しかなく登ることができずに残念でしたが、天気も良く、風も涼しくて気持ち良かったです。仁田峠の帰りに雲仙スパハウス・ビートロ美術館に立ち寄りしました。ロビーにガラスデコやアクセサリーなどいろいろな商品が販売されていたので、田中克将くんに車椅子を押してもらって、一緒に見て回りました。

体は疲れましたが、気分はリフレッシュ!! やっぱり、年に1度の研修旅行は“最高に楽しい”です。今から来年の研修旅行が楽しみです。

森 大輔



新しい仲間紹介

パン部体験記

自然の中で働く

9月からパン販売部に入りました。岩宗晃子です。私の趣味は、音楽を聞くこととショッピングです。パン販売では、大村や、小浜の方へ販売に行ったりと、いろんな場所に行けることも楽しいです。

でも、今まで販売の仕事をやったことがなかったので、接客の時に緊張してしまいます。徐々に慣れてきて、パン部のメンバーともコミュニケーションが取れるようになってきました。



た。お会計の時に、他のメンバーに頼ってしまい、まだまだ自信が持てない部分がありますが、これからは自信を持って、自分1人で出来るようになりたいです。

いわむね あきこ
岩宗 晃子

木古里に、1日体験をさせてもらい、最初に目に入った木古里の門で思わず「わあ〜」という言葉が出ました。花屋さんだと聞いていたので「私に花屋さんは似合わないだろう」と思っていたのですが、ここで働きたいと思いました。

今までのいろんな作業所は、規則でなかなか自分らしさを出すことができず、体調を崩して休みがちになっていました。木古里に来て、「草・花・木」に囲まれて自然の中で働いていると



病気のことも忘れて、おいしい空気を吸って体調も良くなりました。

今後の目標は、アレンジなどできるようになりたいです。

こやなぎ たみこ
小柳 多美子

はみ出し版

11月のつづき

全体会議の「ヒト」トとは、
チヨット
ちがうよ

みなさん、こんにちは!元気ですか? 私は、相変わらず、風邪もひからずに調子の良い毎日です。風邪をひかないコツはおそらく1日も欠かしたことの無い晩酌だと思います。でも、みなさんは決してマネをしないでくださいね。私はちゃんと行きつけの病院の医者のお墨付きをもらっています。今後もこの調子を保ちつつ「明るく・楽しく・仲良く」をモットーにパン販売に努めたいと思いますので、よろしくお祈りします。
宮浦 満

今年の研修旅行で雲仙に行ったり、ハウステンボスのガーデニング大会を見に行ったり、いつもと違う楽しみがありました。どこに行っても、つい食べ過ぎて太ってしまって、最近「あまり食べ過ぎると病気になるよ!」と注意されています。
原田 智徳

「おはよう」は1日の始まりの挨拶です。北諫早中学校の玄関先で毎日、元気な声が飛び交っています。いつも元気をもらっています。1日の原動力、やる気、いろいろな面で前向きな気持ちになれます。 舩田 辰明

言うべきことを言わないのは、自分の役職を放棄したことになります。陰口は言うな。もう一度、感謝感激。ドンキーワールド!!
竹村 孝

日々思っていることをつづやいてみたいと思います。パン部門には10名くらいいる中で、23日の利用日数を2・3名しかクリアできていないことです。そのせいで、一部の人に大きな負担がかかっているのが現状です。みんな、理由があるとは思いますができる範囲で努力してみたいです。職員の方も配慮をお願いします。 池本 学

パン部はチームワークが悪いと思います。思いやりの気持ちをもってまずは、挨拶からしましょう。
小島 一正

私は、ドンキーワールドに通い始めて5年になります。パン部のメンバー・印刷部のメンバー・タックのメンバーとも楽しく朗らかに。そして忘れてはならないのは、ロンロンとも仲良く、私は1人1人に恩返しをしていきたいです。
平古場 晃

11月のみんなのつぶやき

ちがうよ
チヨット
全体会議のヒトコトとは、

もっと接客がうまくなりたい。研修旅行での温泉が気持ち良かったです。
木下 正

グラスデコ作りにはまっています。マスコットも可愛く作れると嬉しいな。
榮 美穂

パン販売でお金の計算を間違えないようにします。パンの名前を覚えます。
泉 桃子

私の夢は、木古里を癒しの空間に成長させることです。木古里に来た人がまた頑張ろうと思えるところにしています。
上戸 則幸

新聞配達と回転焼きを頑張ります。
田中 克将

タックで働き出して、8ヶ月が経ちました。みんなの優しさに支えられて頑張っています。
熊本 のり子

これから、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。
富岡 一二

新しく入った小柳さんと、仲良く仕事をしていきます。
松本 和博

今度の研修旅行では温泉に入りたいです。
田中 恵

発見されたばかりの新種のカメレオンのサイズが面白い。16ミリ、この地球上にはまだまだ未確認の生物がいるのだろうなあ。
平田 いつみ

朝から、少し疲れていてもみんなの顔を見ると元気が出ます。
溝越 利恵

私は、木古里の清掃をしています。今思うことは自分自身を磨くことです。
坂田 光則

初めての研修旅行は、久しぶりにお酒を飲んでとても楽しかったです。家でもたまにお酒を飲んでみようかな？
花房 静子

私の趣味は、魚釣りです。去年は35センチの魚を釣り上げたので、今年は、40センチの魚を狙います。
池田 秀春

空いた時間には、厨房の清掃を心がけています。みんなが見えないところで頑張っています。
本多 麻奈美

いつも感謝の気持ちを忘れずに、笑顔で過ごせたらと思います。
坂本 弘子

すっかり涼しくなり、それにつれて腰痛がひどくなり始めました。本格的にダイエットをします。
中尾 照夫

また、どこか旅行に行きたいです。1週間に3度は必ず、木古里に通いたいです。
村山 博之



おしらせ

諫早灯りファンタジア……

11月 / 16日(金) ~ 12月 / 25日(火)
11月 23(金)・24(土) ライトピア スペシャルナイト
諫早市役所前中央交流広場 / 15時~

アエル竹の下通り100円商店会

11月 / 24日(土) 12時~

ナイスハートバザール……

12月 / 12日(水)・13日(木)・14日(金)
場所：諫早市民センター / 時間：10時~17時半

ワンワン会・クリスマス交流会

12月 / 22日(土) 場所：小浜温泉伊勢屋

タック休業日のお知らせ

以下の日程で、お休みさせていただきます。

2012年12月28日(金) ~
~2013年1月4日(金)
1月5日より営業いたします。

編集後記

▶街にはクリスマスソングが流れ始め、今年もあと少し。笑う門には福来たる。私にとっては笑いで始まり笑いで終わりそうな良い一年でした。笑いとは心の栄養です。皆様にとって来年も良い年に、笑い多き良い年になりますように。

大賀 誠

▶前号から原稿の依頼回収、文字入力を任されています。依頼をする難しさ、回収をする大変さを感じながら頑張っています。ドンキーワールドとタック・木古里が、地域の方々に貢献させて頂きながら、今以上に僕自身も成長していければと思います。

森 大輔

▶イベントの制作物に追われ、マンボウ通信を発行するころには全てが忘却の彼方…。通信の原稿を見ながら今年を振り返っています。タックの3周年記念のイベントも盛況に終わりドンキーワールドの歴史の1頁になりました。地域の皆様に感謝です。

上原 英明